

事業所名

文京区児童発達支援センター 放課後等デイサービス ほっこり

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

19日

理念	私達は、子どもに安心・安全な環境を提供し『1. 心と身体の土台を作る 2. 楽しい遊びを通して、経験の幅を広げる 3. 社会の中で生きる力を育む』ことを目指します。				
支援方針	安全で健康に過ごせる環境を作り、全身運動・感覚遊びなど、楽しく遊べる活動の中で、信頼できる大人からの見守りや承認・共感・励ましなどの温かい関わり（やりとり）を大切に、支援を行います。それにより、幼児期の子どもの発達の土台作りをし、さらに学童期には「社会の中で生きる力」の育ちを積み重ねていきます。 常に子どもを真ん中におき、多職種によるチームアプローチにより、家族や関係機関との連携を図っていきます。 将来、子どもと家族が社会の中で生きやすくなり、豊かな人生を歩んでいくことができるよう、幼児期・学齢期の子どもを育てる保護者に寄り添い、共に歩んでいきます。				
サービス提供時間	平日	14:00 ~ 18:00	営業時間	平日	9:00 ~ 18:00
	第2、第4土曜日 及び学校長期休業期間	13:00 ~ 17:00		第2、第4土曜日 及び学校長期休業期間	9:00 ~ 17:00
送迎実施の有無	帰りのみ有り				
支援内容					
本人支援	健康・生活	・生活の流れを一定にしなが、身の回りのこと（排泄・着脱・物の管理等）について、スケジュールや手順表を用いて視覚的に伝えることで、子ども達が、自分で気付き取り組めるように、環境を整えています。子ども達の心身の状態を細やかに観察しながら、気持ちに寄り添い、安心して過ごせるようにしています。			
	運動・感覚	・ホールや中庭では身体を動かす遊びを、指導室では制作活動等の手先を使う遊びを設定することで、子ども達が自分で選択した遊びを楽しむ中で、様々な経験ができるようにしています。			
	認知・行動	・一人ひとりの理解力や情報処理の特性に合わせて、生活の流れや活動内容に見通しがもてるように、文字や数字、イラストや写真等で視覚的に提示したり、声掛けの方法を工夫したりしています。活動によって部屋を分ける、刺激の調整された空間を活用する等して、子ども達にとって分かりやすく構造化された環境の中で、落ち着いた気持ちで活動に参加できるように配慮しています。			
	言語・コミュニケーション	・子ども達のもっている発信方法で自分の思いを伝えられるように、気持ちをくみとって代弁したり、場面に合わせた発信のモデルを示したりすることで、相手に伝わったという経験を重ねられるようにしています。周囲の状況や相手の様子を意識してやりとりをできるように、状況や相手の思いをわかりやすく伝えることで、相互的なやりとりにつなげています。			
	人間関係・社会性	・子ども達の好きな遊びを一緒に楽しむことで、職員との信頼関係を構築していきます。職員との信頼関係をベースに、子ども同士の関わりや集団参加への意識が高まるように働きかけます。集団での設定活動では、子ども達が主体的に取り組み、達成感を感じられるように、個々に合わせた活動のねらいを設定しています。			
家族支援	・定期的な面談を年1～2回設定する他、必要に応じて専門職の相談を実施しています。保護者会や講演会を通して、情報提供を行っています。	移行支援	・多機能型事業所のメリットを生かして、児童発達支援との情報共有を行っています。		
地域支援・地域連携	・保護者の希望を確認しながら、必要に応じて、地域の関係機関との連携を実施しています。	職員の質の向上	・定期的に、児童精神科医師等、複数の専門家によるスーパーバイズを受けています。職員が外部研修に参加する機会を設定しています。		
主な行事等	園内行事…夏祭り・科学教室・戸外活動・お楽しみ会等				

※理念、及び支援方針については、文京区児童発達支援センターとして、児童発達支援「そよかぜ」と放課後等デイサービス「ほっこり」が同一の内容としています。